

写真展 東京1960

＜撮影: 藪部澄、長野重一、田沼武能、熊切圭介、木村恵一＞
ノエビア銀座ギャラリーにて開催

2014年3月31日～6月6日



飲食店街交差点 撮影: 藪部澄

東京1960

2014年3月31日(金)～6月6日(金)



高級衣類屋敷に集まる若いカップル 撮影: 田沼武能

新しく開店したデパートに集まる人たむ 撮影: 長野重一

1960年代、日本は驚異的な高度経済成長を遂げ、中でも東京は、人口や自動車保有台数が急増しました。1964年のオリンピック開催に向け、高速道路など都市の基盤が整備され、東京の姿は大きく変貌していきます。自動車に若者の手が届くようになり、ファッションへの意識が高まるなど、人々の暮らしも変わっていきました。本展では、5人の写真家の作品を通して、「東京オリンピックと国際化」「若者文化の勃興」「高度経済成長」の3つの観点から、1960年代の東京の姿をよみがえらせます。

藪部 澄 (そのべ きよし) 1921-1996 東京生まれ
戦後、各地の生活や風俗を精力的に撮影。
「写真の記録性」が高く評価されている。

長野 重一 (ながの しげいち) 1925- 大分市生まれ
50～60年代の週刊誌や写真雑誌に数多く連載。
メッセージ性のある「フォト・エッセイ」で知られる。

田沼 武能 (たぬま たけよし) 1929- 東京生まれ
芸術家・小説家などの人物写真や東京の下町を活写した作品を発表。『ライフ』の契約写真家として活躍。

熊切 圭介 (くまきり けいすけ) 1934- 東京生まれ
『週刊現代』をはじめ、月刊誌、グラフ誌のグラビアページの仕事約40年間担当。

木村 恵一 (きむら けいいち) 1935- 東京生まれ
『週刊ポスト』『FOCUS』の創刊スタッフとして参加し、
グラフジャーナリズムの先端で活躍。

～ 写真展「東京1960」～ 《入場無料》

会 期：2014年3月31日(月)～6月6日(金)
開 催 時 間：午前10時～午後6時 (土・日・祝日は午後5時まで)
会 場：ノエビア銀座ギャラリー (ノエビア銀座本社ビル 1F)
主 催：株式会社ノエビア
お 問 合 せ：0120-401-001 (月～金/9:00～18:00 土・日・祝日除く)

ノエビア銀座ギャラリーサイト <http://gallery.noevir.jp/>



東京都中央区銀座 7-6-15

＜マスコミの方からのお問い合わせ＞

TEL 03-5568-0349 FAX 03-5568-0441 (株)ノエビア 広報・宣伝部 後藤・森山